

# 装苑

SO-EN

December 2004 Fashion Magazine

12

## 古さが魅力

映画に学ぶ'20~'50年代のレディスタイル  
大森仔祐子のヴィクトリアン  
ファッションビブルのおすすめビンテージ  
ロンドン、パリ、東京、大阪 ビンテージショップ41店  
ビンテージリメイク

## 皆川 明の デザインの贈り物

minä parhonen design award 募集開始

老舗アパレル

織田屋敷のクリスマスケーキ

## アクセサリ

アンティークウォッチ / ビンテージアクセサリ

ハンスJウェグナー / 和田聡宏

レースのアンティークドレス

# Fuchsia Dentelles

フューシャ ダンテル

住所：2, rue de L'Avé Maria 75004, Paris TEL: +33 (0) 1 48 04 75 61

営業時間：13時～19時(日曜14時30分～) 定休日：月曜

レースを中心にした品ぞろえの店。ブラウス、スカート、スリッパ、寝巻き、子供服やアクセサリー、帽子も豊富。

1. オーナーのエリーズ。買付けはすべて彼女がやる。2. お気に入りのマネキン。3. 帽子コーナー。4. 子供服やいろいろ。5. アクセサリーコーナー。6. 左から30年代の黒の黒のシルクサテンとチュールのドレス。スカート部分に繊細なスパンブル刺繍が施されている。レースと麻のガウン。ネグリジェの上にはおるもの。同じく30年代の黒のハネドレス。ガラスのビーズ刺繍が美しい。7. 1880年代のヴィクトリア風のシルクのケープ。インタビュー中に持込みで買付けしたもの。8. ポビンレース(いくつものポビンに巻いた糸をねじったり、組んだり、からめたりしてレース)を作る機械。店を始めたお祝いに、父親がプレゼントしてくれたもの。



パリのマレ地区、サン・ポール寺院脇をセーヌ川に向かうサン・ポール通り。パリっぴい個性的なブティックを眺めながら歩くと、右手に約60軒のアンティークの店が集まる。ウィラサン・ポールがあり、その一角に「フューシャダンテル」がある。「祖母はクチユリエでした。また古い物が大好きな両親に連れられ、小さいころから蚤の市、骨董屋やがらくた市によく通いました。4年前、2000年2月この店のオーナーであり友人のナデージュがこの店を引き継ぎました」と2代めのオーナーになったエリーズ・ロドルフ。店の名前は、ナデージュの庭に咲いていた美しい「ピンクのフューシヤ」の花からきているとか。看板には1900～1930年代の商品とたたっているが、品ぞろえは1880～1960年代のドレス、ブラウス、スカート、ローブドゥニューイ(ドレス型の寝巻き)、スリッパ、帽子、靴、アクセサリ、レリス、テールブルクロス、カーテンなどで、それらが所狭しと飾られている。彼女の気持ちが吹き込まれた一つ一つの商品はノスタルジックな雰囲気訪れる人の心をなごませる。天井からつるされているドレスはしわ一つなく、次に着てくれる人の訪れを待っているかのよう。これらの商品はどのように集められるのだろうか。意外にも個人が直接店に売りに来る品物が多く、日に一人、多い時には三人もが品物を持ち込む。また個人の家に買い付けに出かけることもある。インタビューの最中にも1880年代のヴィクトリア風の繊細な刺繍の黒のレースとシルクのケープ2点が買付けられた。「袖や裾の一部分だけが傷んでいるが、あきらめるには惜しい。そんな品物と出会った時には、祖母から習ったテクニクで新しい品物へと作り変えます。手間と根気がある仕事だそうだ。「仕入れで大切なものは、状態がよく、美しく、繊細な品物を選ぶことですね。年代を見分けるポイントですか? まず素材を見ます。どんなに昔風に作られていても今の物とは生地の種類が違うし、刺繍のテクニクも服のフォルムも年代で違います。店を訪れるのは20代から60代と幅広い年齢層の女性。最近ではレトロ、クラシックブームだからか、特に若い客層が増えている。「彼女たちはシルクのスリッパやレースのフェミニンなアイテムを好みます」。お客のほかにスタイリスト、映画、舞台の関係者が当時のアンティークをよく探しに来るそうだ。6年前、私が撮影のためにレースのアンティークの服を探していた時、この店を教えてくれたのも「ヴオーグ」のスタイリストだった。エリーズが好きなのはビーズの刺繍のドレスだというが、彼女自身はアンティークドレスを身に着けていない。「店にあるものは大好き。今までに何度もほんとうにすばらしい品物を見ました。なぜか私自身は着ることはないのです。一日中アンティークに囲まれているだけで、幸せだからかもしれませんね」。エリーズのアンティークをいとしむ気持ちが、レトロな気分の出会いのチャンスを与えてくれる。